



～ 「新卒から訪問看護師をめざす！」を叶え、支える ～

新卒訪問看護師 スタート・プログラム

(スター・プログラム)



概要版
2022年4月



一般社団法人

大阪府訪問看護ステーション協会

I. スター・プログラムのねらいと体制

スター・プログラムでは、新卒者が安心して生き生きと訪問看護師として成長し、若手訪問看護師としての能力を発揮できることをめざします。

★プログラムで身につくスキルとは？

- ① 社会人・看護師としての基本的な資質
- ② 訪問看護師に必要な専門的な知識と技術、看護実践を展開する力
- ③ 在宅ケアチームの一員として、多職種と連携し、チームケアを実践する力
- ④ 訪問看護師として自律してキャリアアップできる資質

★対象者はだれ？

- 看護系大学・看護師養成所の新卒看護師
- 卒後2年以内の新人看護師

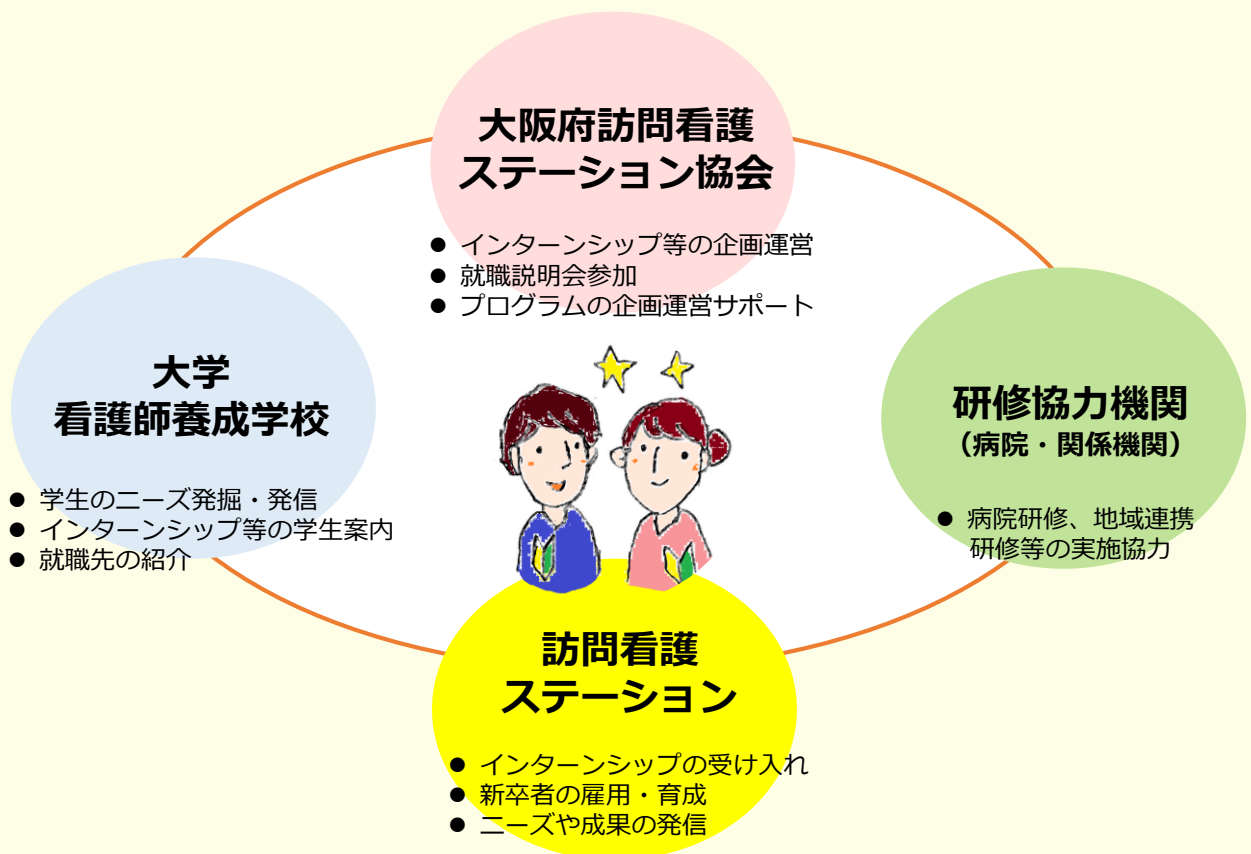
★実施期間は？

2年間（24ヶ月）です



<提供体制>

地域の関係各所の連携によって、就職前・後の新卒訪問看護師への道りをバックアップします。



II. プログラムの概要



新卒ナースの成長に合わせて、訪問看護に必要なスキルを段階的にマスターします！

<成長の3ステップ>

| 時期 | 目標 |
|----------------------------|---|
| STEP 1 (就職～6か月) | ① 日常生活援助のための基本的技術・態度を身につけ、基本的なケアができる。 ② 訪問看護の業務内容と役割について理解できる。 ③ わからないことを知ろうとする主体的な学習姿勢をもつことができる。 |
| STEP 2 (7～12か月) | ① 対象者の変化を予測し、基本的な看護技術の提供や看護過程の展開ができる。 ② 訪問看護の業務内容と役割について他者に説明できる。 ③ 苦手な分野を克服できるように絶えず努力を行うことができる。 |
| STEP 3 (13～24か月) | ① 対象者のニーズを見通し、適切な看護技術の提供や看護過程の展開ができる。 ② 所属事業所の理念や目標ならびに地域における事業所の役割を理解できる。 ③ 助言を受けながら自己の課題を見つけ、解決方法を見いだすことができる。 |

<到達度とプログラムの内容>



新卒ナースの力量を考慮した訪問の形、訪問看護に必要な知識・技術を身につけるための OJT、外部研修などによって、2年間で「単独訪問（緊急対応含む）できるレベル」をめざします！

★ STEP1(就職～6か月)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----------|---|---|----|---------------------------|----|----|
| 実務到達度 | 同行訪問 | | | 単独訪問 担当利用者1名 | | |
| 看護実践修得レベル | | ◆ 利用者1～3名の看護計画の立案と、指導者の見守りの下での実施 ◆ 基礎看護技術の実施 ◆ 訪問看護の業務内容の理解 | | ◆ 単独訪問の継続 ◆ 訪問看護の役割の理解 | | |
| 研修 | 看護過程研修 進度に合わせた看護過程の展開力の修得 | | | | | |
| | 知識技術研修 講義・演習・病院技術研修等 訪問看護に必要な知識・技術の修得 | | | | | |

★ STEP2(7～12 か月)

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------|--|-----|-----|--|----|----|
| 実務到達度 | 同行訪問 | | | | | |
| | 単独訪問 | | | | | |
| | 担当利用者 3名 | | | 担当利用者 5名 | | |
| 看護実践修得レベル | <ul style="list-style-type: none"> ◆病態が安定した利用者の看護の実施 ◆利用者や家族との信頼関係づくりと、基本的なコミュニケーションの実施 ◆フィジカルアセスメントの実施 ◆病院での疾病の経過やケアを理解する | | | <ul style="list-style-type: none"> ◆変化が予測される利用者の看護実施 ◆急変時や臨死期の対応のイメージ化 ◆訪問看護の業務内容や役割の説明 | | |
| 研修 | 看護過程研修 | | | | | |
| | 知識技術研修 | | | | | |
| | 病院看護研修 一般病棟等での病院実習 入院～退院までの看護の理解(時期や期間は協力病院と調整) | | | | | |

★ STEP3(13～24 か月)

| | 4～9月 | 10～3月 |
|-----------|--|---|
| 実務到達度 | 単独訪問 | |
| | 担当利用者 8名 | 緊急訪問 |
| 看護実践修得レベル | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 家族を1つの単位とした看護の実施 ◆ 利用者や家族に必要な指導の実施 ◆ 急変時や臨死期の対応の理解 ◆ 関係機関、関係職種に対して連携が必要な状況の判断と、適切な報告・連絡・相談 ◆ 所属事業所の地域での役割の理解 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 重症利用者への看護の実施 ◆ 急変時や臨死期の緊急対応の同行 ◆ トラブル発生時の対応を理解する ◆ 他職種が参加する会議の参加と、看護師の立場からの発言 ◆ 専門分野の訪問看護の特徴の理解 |
| 研修 | 地域連携研修 | |
| | 多職種・多機関との連携力の修得 | |
| | 病院看護研修 救急・集中治療部門等での病院実習 急変・臨死期の看護の理解(時期や期間は協力病院と調整) | |
| | | 総合事例報告会 2年間のまとめの会 |

※2022年度の協力機関： 大阪公立大学大学院看護学研究科 地域包括ケア科学
大阪市立総合医療センター 大阪国際がんセンター

※研修内容は、一部変更する場合があります。

さあ、新卒から訪問看護師を

めざそう！育てよう！

<プログラムに関するお問い合わせ先>

一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会

〒542-0012 大阪市中央区谷町 6-4-8 新空堀ビル 205号

TEL : 06-6767-3800 FAX : 06-6767-3801